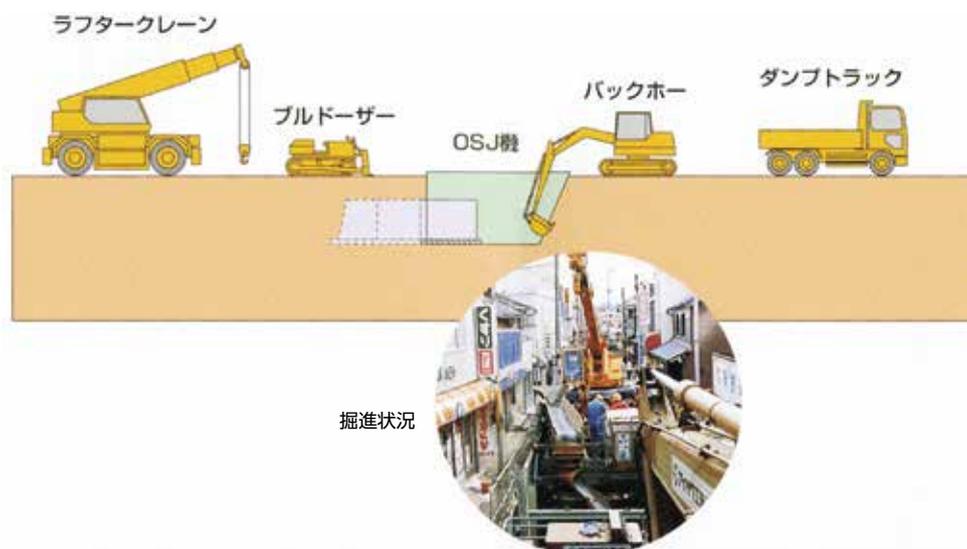


[OSJ協会工法]

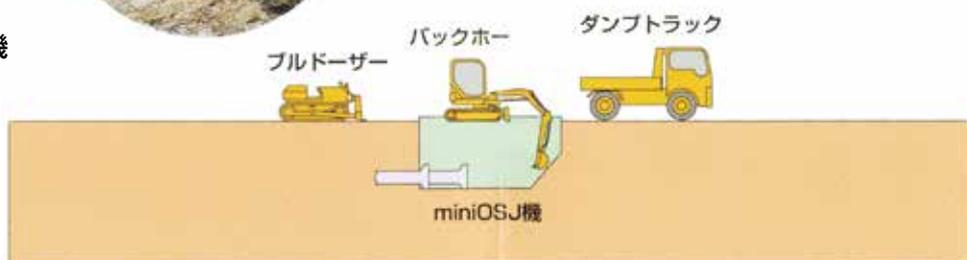
OSJ工法は、施工重機をパイプライン上に配置して、最前部でバックホーにより掘削を行いながらOSJ機を推進させ、同時に後方に埋戻しを行います。この作業をくり返し、OSJ機のテール部にできる空間に、基礎工とともに管渠を敷設します。このように、本工法は掘削から埋戻しまでの一連の作業をくり返し、連続して行う開削管渠埋設工法です。

● OSJ機



掘進状況

● miniOSJ機



特長

- ① 早期に埋戻しを行い、推進ジャッキによる水平方向への締固めをくり返し行うため、均一で十分な締固めができ、周辺構造物への影響が少ないです。
- ② 掘削して直ちに埋戻しを行うため、作業区間が短く交通開放が早く行え、住民生活に及ぼす影響が極めて少ないです。
- ③ 開口部がOSJ機の部分だけなので、通行者や住民に対する安全性が高く、鋼製フレームに保護されたスペースでの作業により、作業員への安全性も十分です。
- ④ あらゆる土質条件に適用が可能です。また、OSJ機の前後だけでの作業を行うため、側方部への作業帯を必要とせず、狭いところでも施工ができます。
- ⑤ 掘削から埋戻し・締固めまでを連続して行う工法なので、日進量が従来工法の約2倍と、スピーディーな作業が可能です。
- ⑥ OSJ機は自降自昇システムを採用しているので鋼矢板等による立杭の構築が不要です。